

2. 設問毎のポイント

■ 北陸に対する印象・イメージ

- ・ 北陸に対するイメージは、「美しい」が最も強い（47.8%）。ただし、微減傾向にある。
- ・ 北陸に対するイメージの理想と現状のギャップをみると、「活気がある」が最も大きい（40.1%）。
- ・ 3県別では、富山県と福井県に対しては「素朴である」というイメージが強いのに対し、石川県は「伝統を重んじる」が最も強くなっている。
- ・ 観光地としての北陸の評価は、「海岸の美しさ」が最も高い（68.1%）。
- ・ 「北陸の自然」から連想することは、「雪」が最も多い（35.0%）。ただし、微減傾向にある。
- ・ 「北陸の自然」に対する印象は、「おいしい魚介類が豊富にある」（75.8%）。
- ・ 「北陸の生活」から連想することは、「雪に閉ざされた生活」（50.6%）。ただし、微減傾向にある。
- ・ 「北陸の都市環境」に対する印象は、「伝統工芸などの地場産業が盛ん」（51.8%）。ただし、微減傾向にある。
- ・ 「北陸の文化」から連想することは、「伝統芸能」（73.6%）。
- ・ 「北陸の歴史・文化」に対する印象は、「北陸地方独特の伝統芸能、芸術が盛んに行われている」、「古くから伝わる有名なお祭りや朝一が盛んに行われている」などが多い（48.1%、44.8%）。
- ・ 「北陸の活力」に対する評価は、「伝統工芸産業の集積」が最も高い（36.0%）。
- ・ 「北陸の交通機関」に対する評価は、「現在住んでいるところとの間の交通が不便である」が最も多い（40.3%）。ただし、微減傾向にある。
- ・ 「北陸の国際化」に対する印象は、「特にない」が最も多い（56.0%）。

■ 北陸への来訪・居留意向

- ・ 「ぜひ行ってみたい」は28.6%。「まあ行ってみたい」と合わせると、7割を超える。
- ・ 行ってみたい理由は、「温泉でゆっくりくつろぎたい」からが最も多い（72.2%）。次いで、「他の地域では味わえない食を堪能する」（61.6%）。
- ・ 3県別の来訪意向は、「石川県」が最も多く71.6%。
- ・ 北陸3県への居留意向は、「住んでみたい」「まあ住んでみたい」を合わせると、「富山県」（7.8%）、「石川県」（11.9%）、「福井県」（7.3%）。
- ・ その理由は、「自然環境が良いため」（富山県、福井県）、「食べ物などの生活環境が良いため」（石川県）が最も多い。

■ 北陸の各種資源の認知度および購買意向等

- ・ 福井県の各種資源への認知度は、「越前がに」、「東尋坊」などが高い（77.4%、68.0%）。
- ・ 石川県の各種資源への認知度は、「兼六園」、「輪島塗」などが高い（81.9%、75.7%）。
- ・ 富山県の各種資源への認知度は、「立山黒部アルペンルート」、「ます寿司」などが高い（64.7%、55.0%）。

■ 国内他地域とのイメージ等の比較

- ・ 観光を目的とした来訪経験のある地域は、「信州」が最も多い（76.8%）。次いで「九州（67.7%）」、「北海道（66.5%）」で、「北陸」は61.6%。
- ・ 来訪経験の回数が最も多い地域でも、「信州」が34.5%と多い。次いで、「北海道（12.2%）」。「北陸」は7.6%。
- ・ 直近（昨年秋～今年の夏）の来訪状況も、「信州」がと最も多い（23.9%）。次いで、「東北」（14.2%）。「北陸」は10.5%。
- ・ 観光を目的とした場合の今後の来訪意向は、「北海道」が最も多い（75.0%）。次いで、「沖縄」（69.5%）。「北陸」は40.9%。
- ・ 来訪経験はないが、今後來訪してみたいと思う地域は、「北海道」、「信州」、「九州」、「沖縄」の順で多い。
- ・ 北陸以外の地域への来訪意向をみると、「北海道」が最も多い（24.3%）。次いで「沖縄」（21.3%）、「京都・奈良」（9.7%）、「九州」（9.6%）となっている。
- ・ 北陸へのイメージとして最も合致しているのは「伝統を重んじる」（24.1%）。次いで「美しい」（17.5%）、「素朴である」（12.5%）。（※値はいずれも、「（北陸のイメージに）非常に合う」とした割合）
- ・ 反対に、「先進的」、「センスが良い」、「明るい」といったイメージは弱い。
- ・ 各地域イメージの比較容易性を高めるために抽出した7つの因子（「癒し」「活気」「潜在能力」「洗練」「開放感」「親近感」「利便性」）別では、北陸は「潜在能力」に関して他地域より強いイメージを持たれている。（詳細は P86 参照）
- ・ 「癒し」や「親近感」についても比較的強いイメージがある。
- ・ 反対に、「活気」、「利便性」、「開放感」は、他地域に比べるとあまりイメージがない。
- ・ 観光地としての北陸の強みは、「四季折々の食が豊富である」、「ゆったりとくつろげる温泉がある」。（詳細は P88 参照）
- ・ 観光地としての北陸の弱みは、「山岳・高原・湖等の多様な自然」、「水や空気が澄んでいる」等。
- ・ 各地域への居住意向は「沖縄」が最も多い（10.6%）。次いで「北海道」（9.1%）。「北陸」は、「まあ住んでみたい」まで合わせると約1割が今後の居住意向を持っている。
- ・ 「北陸」への居住を希望する理由として多いのは、「自然環境が良いため」（65.9%）、「食べ物などの生活環境が良いため」（56.5%）。